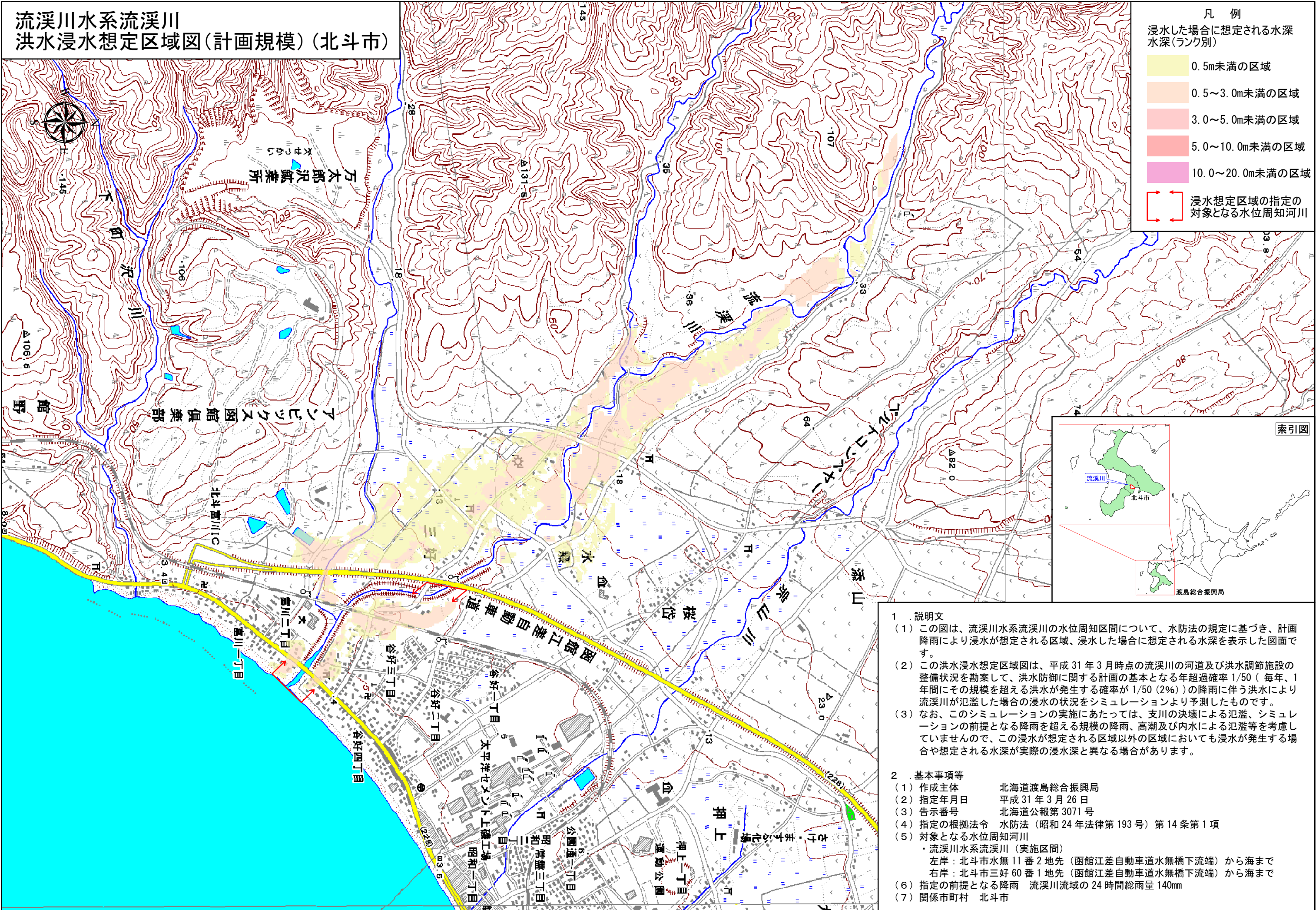


流溪川水系流溪川
洪水浸水想定区域図(計画規模)(北斗市)



- 凡 例
- 浸水した場合に想定される水深
水深(ランク別)
- 0.5m未満の区域
 - 0.5～3.0m未満の区域
 - 3.0～5.0m未満の区域
 - 5.0～10.0m未満の区域
 - 10.0～20.0m未満の区域
- 浸水想定区域の指定の
対象となる水位周知河川

索引図

- 1 説明文
- (1) この図は、流溪川水系流溪川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき、計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、平成 31 年 3 月時点の流溪川の河道及び洪水調節施設の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率 1/50 (毎年、1 年間にその規模を超える洪水が発生する確率が 1/50 (2%)) の降雨に伴う洪水により流溪川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。
- 2 基本事項等
- (1) 作成主体 北海道渡島総合振興局
- (2) 指定年月日 平成 31 年 3 月 26 日
- (3) 告示番号 北海道公報第 3071 号
- (4) 指定の根拠法令 水防法(昭和 24 年法律第 193 号) 第 14 条第 1 項
- (5) 対象となる水位周知河川
- 流溪川水系流溪川(実施区間)
 - 左岸: 北斗市水無 11 番 2 地先(函館江差自動車道水無橋下流端)から海まで
 - 右岸: 北斗市三好 60 番 1 地先(函館江差自動車道水無橋下流端)から海まで
- (6) 指定の前提となる降雨 流溪川流域の 24 時間総雨量 140mm
- (7) 関係市町村 北斗市

「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図25000(地図画像)及び基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1035号)」